

授業科目名	楽式論	担当形態	講義		
		開講学期	秋学期		
担当教員	森本 頼子	単位	2	年次	3

### ＝授業のテーマ及び到達目標＝

西洋音楽の古今の作品を分析・研究して、形式的特徴を理解します。音楽作品を分析するための基礎力を身につけ、演奏、創作、研究、教育に役立てます。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

基礎的な楽典の知識をもっていることを条件とします。楽曲分析をする力をつけるために、授業時に出される課題に能動的に取り組み、配布プリントをもとに予習復習をしてください。授業では、楽曲分析や音楽鑑賞の時間を多く設けるため、私語は厳禁です。

### ＝授業の概要＝

音楽作品を構成するさまざまな音楽形式（歌謡形式、変奏形式、ロンド形式、ソナタ形式、フーガ形式など）の原理や構造を理解したうえで、楽曲分析を通じてその特徴を具体的に学び取り、音楽作品の構造をより深く理解するための基礎力を養います。小テストと期末試験により、楽曲分析をするための確かな力を身につけます。

### ＝授業計画＝

- 1回 ガイダンス（講義の目標や内容の確認）、楽式論とは
- 2回 動機と楽節、歌謡形式
- 3回 複合3部形式
- 4回 小テスト（1）／変奏曲（1）原理と構造
- 5回 変奏曲（2）装飾変奏
- 6回 変奏曲（3）性格変奏
- 7回 ロンド形式（1）原理と構造、小ロンド
- 8回 ロンド形式（2）大ロンド
- 9回 小テスト（2）／ソナタ形式（1）原理と構造
- 11回 ソナタ形式（2）ソナタ形式の分析①
- 12回 ソナタ形式（3）ソナタ形式の分析②
- 13回 小テスト（3）／フーガ形式（1）原理と構造、フーガの分析①
- 14回 フーガ形式（2）フーガの分析②
- 15回 期末試験

### ＝テキスト（必携）＝

使用しません。

### ＝参考書・参考資料（必携）＝

毎回プリントを配布するので、必ずファイリングして保管してください。参考書については、授業中に適宜紹介します。

**=成績評価の方法と評価の基準=**

授業への参加姿勢（30%）、3回の小テスト（30%）、期末試験（40%）

**=その他=**